

# AND

株式会社 エー・アンド・デイ

# AD-5582A

# クランプメータ

## 取扱説明書 保証書付

社名および製品名は商標または登録商標です。

### ご注意

1. 本書の内容の一部、または全部の無断転載は禁止されています。
2. 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、お気付きの点がありましたらご連絡ください。
4. 運用した結果の影響については、前項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

WM+PD4000680

## はじめに

このたびは、クランプメータをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

本製品をより効果的にご利用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、保証書も兼ねておりますので、お読みいただいた後も大切に保管してください。

## 安全にお使いいただくために

本書には、あなたや他人への危害を未然に防ぎ、お買い上げいただいた製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を示しています。

この機器を操作するときは、いつも下記の点に注意してください。

修理： ケースを開けての修理は、サービスマン以外行わないでください。保証の対象外になるばかりか機器を損傷したり火災の原因になります。

機器の異常： 機器の異常が認められた場合には、使用をやめ、速やかに電池を取り外してください。なお修理に関しては、お買い上げいただいた店、または弊社にお問合わせください。

## 保証規定

次のような場合には保証期間内でも有償修理になります。

1. 誤ったご使用または取扱いによる故障または損傷。
2. 保管上の不備によるもの、及びご使用者の責に帰すと認められる故障または損傷。
3. 不適切な修理改造および分解、その他の手入れによる故障または損傷。
4. 火災、地震、水害、異常気象、指定外の電源使用およびその他の天災地変や衝撃などによる故障または損傷。
5. 保証書のご提示がない場合。
6. 保証書にご購入日、保証期間、ご購入日店名などの記載の不備あるいは字句を書き換えられた場合。
7. ご使用後の外装面の傷、破損、外装部品、付属品の交換。
8. 保証書の再発行はいたしませんので大切に保管してください。
9. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

本 社 〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-23-14 (ダイハツ・ニッセイ池袋ビル  
5F)

TEL 03-5391-6126

FAX 03-5391-6129

# 目次

安全にお使いいただくために .....	表 2
目次 .....	1
仕様 .....	2
各部の名称 .....	3
ご使用上の注意 .....	4
測定方法 .....	4
直流電流 (DCV) .....	4
交流電流 (ACV) .....	4
抵抗測定 .....	5
ダイオードチェック .....	5
交流電流 (ACA) .....	6
直流電流 (DCA) .....	6
ピーク電流測定 .....	7
データホールド機能 .....	7
電池の交換方法 .....	8

# 仕様

## 一般仕様

表示： 3 1/2桁LCD表示、最大1999カウント

測定： ACA、DCA、ACV、DCV、抵抗、ダイオードチェック、導通チェック

極性： 自動切換、“-”表示は極性がマイナスのとき、表示されます。

過入力表示：“1□□□”か“-1□□□”の表示

(注) □は表示ブランクを表わします。

サンプリング： 約2.5回/秒

動作温湿度範囲： 0℃～50℃、80%RH以下  
(結露しないこと)

保存温湿度範囲： -20℃～55℃、85%RH以下  
(結露しないこと)

電源： DC9V 006P (6F22形)  
乾電池 1個

電池寿命： 約50時間 (アルカリ電池にて)

寸法： 230 (H) × 70 (W) × 36 (D) mm

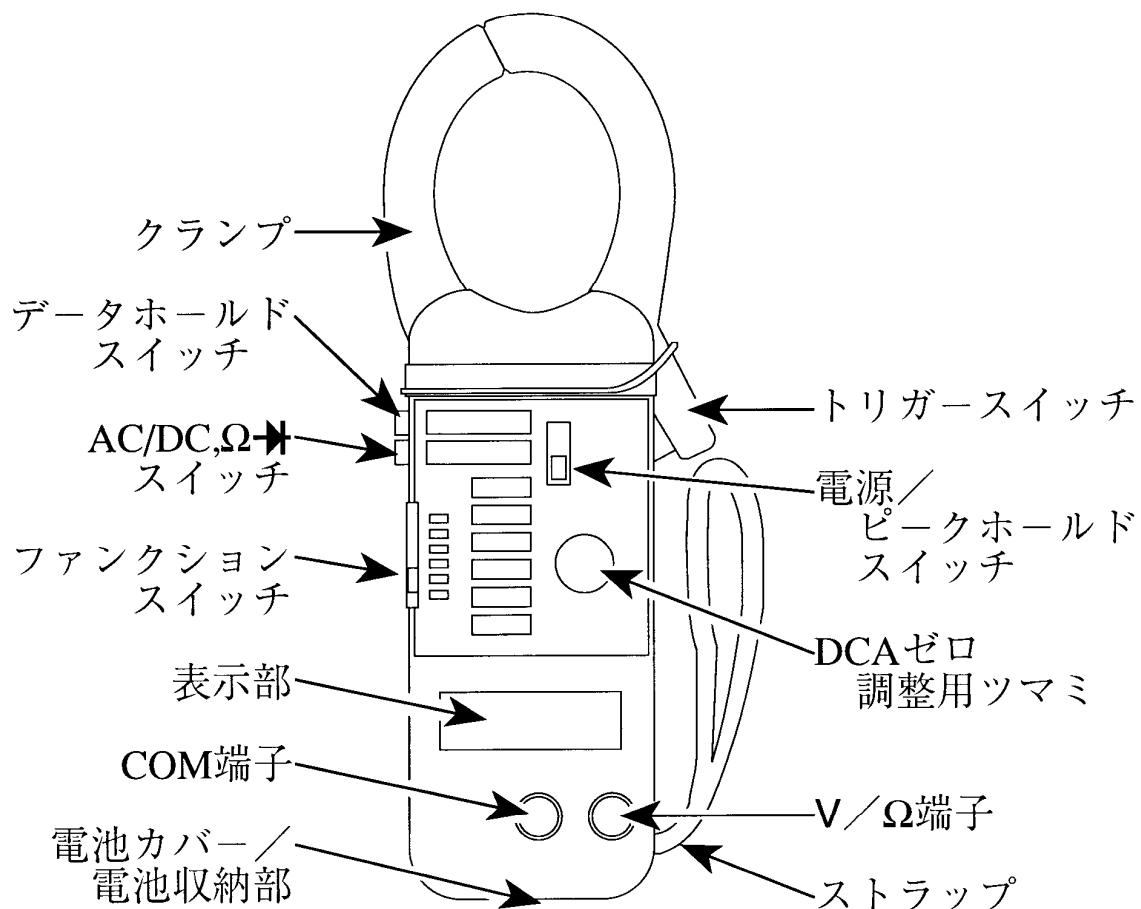
重量： 約380g

標準付属品： テストリード、取扱説明書、キャリングケース  
乾電池 (モニタ用)

## 電氣的仕様 (23°C ± 5°C)

機能	レンジ	分解能	精度	最大入力	備考
DCV	200V	0.1V	±0.8%rdg±1dgt	600VDC	入力 インピーダンス 10MΩ
	600V	1V		600VAC	
ACV (50/60Hz)	200V	0.1V	±1.0%rdg±2dgts	600VDC	10MΩ
	600V	1V		600VAC	
OHM	2000Ω	1Ω	±1.0%rdg±1dgt	250VDC/AC	
ACA/ DCA	200A	0.1A	±1.5%rdg±10dgts	1000A (1分間)	ACAは 50/60Hz の場合
	1000A	1A	±2.0%rdg±5dgts		
DC 200mV	200mV	0.1mV	±0.8%rdg±1dgt	300VDC 250VAC	

## 各部の名称



## ご使用上の注意

1. 出荷時には電池は装着されておられません。「電池の交換方法」を参照して電池を装着してください。
2. ピークホールド機能の測定を除いて、電源／ピークホールドスイッチは、「ON」の位置で使ってください。
3. データホールド機能を使用する時以外は、データホールドスイッチは「OFF」にしてください。
4. 測定前に、ファンクションスイッチを正しい位置に切り換えてください。
5. 測定レンジを変える場合には、テストリードを被測定回路から外してください。
6. 入力端子には、最大定格を越える電圧は加えないでください。
7. 本器を使用しない時には、電源を切ってください。また、長期間ご使用にならない場合には、電池を外しておいてください。
8. テストリードは引っ張らないでください。

## 測定方法

### DCV, ACV測定

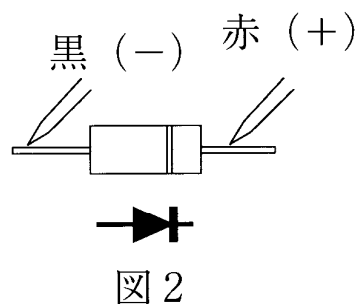
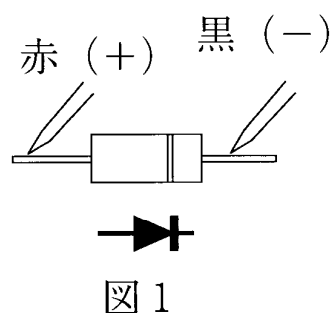
1. 黒のテストリードをCOM端子に接続してください。
2. 赤のテストリードをV/ $\Omega$ 端子に接続してください。
3. DCV測定をするときには、AC/DC、 $\Omega$   $\blacktriangleleft$  スイッチを「DC」にしてください。  
ACV測定をするときには、AC/DC、 $\Omega$   $\blacktriangleleft$  スイッチを「AC」にしてください。
4. レンジを予想できる最大値に切り換えてください。  
(ACV: 200V、600V、  
DCV: 200mV、200V、600V)
5. 電源／ピークホールドスイッチを「ON」にしてください。

## 抵抗測定

1. 黒のテストリードをCOM端子に接続してください。
2. 赤のテストリードをV/ $\Omega$ 端子に接続してください。
3. AC/DC、 $\Omega$   $\blacktriangleright$  スイッチを「 $\Omega$ 」にしてください。
4. ファンクションスイッチを「2000 $\Omega$ 」に切り換えてください。
5. 電源/ピークホールドスイッチを「ON」にしてください。
6. テストリードを回路に接続してください。

## ダイオードチェック

手順は「抵抗測定」と同じです。ただし、テストリードの接続は以下の通りです。



1. 図1に示す極性のように接続をした場合には、順方向の電流が流れ、ダイオードが正常の場合には抵抗値が表示されます。ダイオードが不良の場合には、“ $\_000$ ”（短絡）または“ $1\_\_\_$ ”（開放）と表示されます。
2. 図2に示す極性のように接続をした場合には、ダイオードの逆接続のチェックを行います。ダイオードが正常の場合には、“ $1\_\_\_$ ”と表示されます。ダイオードが不良の場合には、“ $\_000$ ”（または、別の数値）が表示されます。

正しいダイオードチェックを行うには、1. と2. の両方のチェックを行ってください。

（注） $\_$  は表示ブランクを表わします。



## 交流電流（ACA）測定

1. AC/DC、 $\Omega$   $\blacktriangleleft$  スイッチを「AC」に切り換えてください。
2. ファンクションスイッチを最大測定電流の予想値のレンジ（200Aまたは1000A）に切り換えてください。
3. トリガスイッチを押し、クランプを開いて、被測定ケーブルのみを挟んでください。
4. 電源/ピークホールドスイッチを「ON」に切り換えてください。

## 直流電流（DCA）測定

1. AC/DC、 $\Omega$   $\blacktriangleleft$  スイッチを「DC」に切り換えてください。
2. 電源/ピークホールドスイッチを「ON」に切り換えてください。
3. ファンクションスイッチを最大測定電流の予想値のレンジ（200Aまたは1000A）に切り換えてください。
4. DCAゼロ調整用ツマミを、表示が「0」になるように調整してください。

なお、クランプには使用後しばらくは、磁力が残る場合があります。DCAゼロ調整用ツマミを、調整して表示が「0」にならない場合には、以下の方法に従ってください。

A：AC/DC、 $\Omega$   $\blacktriangleleft$  スイッチが「DC」に切り換わっているのを確認して、再度調整してください。

B：クランプを数回、開閉してください。

5. トリガスイッチを押し、クランプを開いて、被測定ケーブルのみを挟んでください。

## ピーク電流測定

1. 本器の電源を切ってください。
2. AC/DC、 $\Omega$   $\blacktriangleleft$  スイッチを「AC」または「DC」に切り換えてください。
3. ファンクションスイッチを最大測定電流の予想値のレンジ（200Aまたは400A）に切り換えてください。
4. 電源/ピークホールドスイッチを「ON」に切り換えてください。
5. 直流電流の測定をする場合には、DCAゼロ調整用ツマミを、表示が「0」になるように調整してください。DCAゼロ調整用ツマミを、調整して表示が「0」にならない場合には、「直流電流（DCA）測定」（4）項を参照してください。
6. 電源/ピークホールドスイッチを「PEAK HOLD」に切り換えてください。
7. トリガスイッチを押し、クランプを開いて、被測定ケーブルのみを挟んでください。測定値の最大値（ピーク値）が表示されます。
8. 電流測定が終了したら、電源/ピークホールドスイッチを、「ON」または「OFF」に切り換えてください。

## データホールド機能

どんな機能を使っている場合にも、データホールドスイッチを「ON」に切り換えると、表示値をホールドすることが出来ます。

## 電池の交換方法

1. 表示の左隅に「LOBAT」と表示された場合は、電池を交換してください。「LOBAT」と表示されてからも、数時間は規格通りの測定が可能です。
2. 本体裏側の電池カバー上部のネジを外し、電池カバーを外してください。
3. 消耗した電池を取り外し、新しい9V電池（6F22形）を入れ、電池カバーを取り付けてください。

## 電池使用上のお願い

1. 破裂や液漏れのおそれがありますので、充電、ショート、分解、加熱、火中への投入はしないでください。
2. 付属の電池はモニタ用ですので寿命が短い場合があります。
3. 電池の装着は、表示の+、-に従って正しく行ってください。
4. 違う種類の電池を混ぜて使用しないでください。
5. 長期間ご使用にならない場合には、電池を外しておいてください。
6. 環境保全の為、使用済の電池は、市町村の条例に基づいて処理するようにお願いします。